

リニューアル！芦ノ牧ポケットパーク

様式2



福島県会津若松建設事務所
企画調査課 技師 砂押 秀

芦ノ牧温泉の玄関口に「かがやき公園」完成

施工場所：福島県会津若松市大戸町大字芦牧地内

1. はじめに

- ・芦ノ牧温泉地区は、湯量豊富な天然温泉と壮大な景観が魅力の温泉街。
- ・近くには、**鶴ヶ城**や**大内宿**や**塔のへつり**といった観光地が多数有。
- ・会津若松市内から車で**約25分**とアクセス良好。



しかし...
地域の意見
国道118号から芦ノ牧温泉へ入る交差点部(顔)が**暗い印象**であった。
おもてなしの顔となっていない。

芦ノ牧温泉活性化に関する地域の取組

<p>地域活性化委員会の発足</p> <p>街並み改善部会、散策緑化部会、イベント部会など各部会を設置。</p> <p>街並み改善部会→施設清掃や維持管理、空き店舗の再利用検討</p> <p>散策緑化部会→手摺の整備や緑地管理</p> <p>イベント部会→夏祭り、冬祭りの企画・実施等</p>	<p>街並み整備への取組</p> <p>宿泊客が温泉街を散策できるような環境を作ることとして地元が主体となり、有識者(専門家)を交えて検討会を実施。</p> <p>活性化委員会でデザイン事務所に街並み計画を依頼するなど積極的に活動。</p>	<p>既設ポケットパークの維持管理</p> <p>ポケットパーク内の清掃及び植栽の管理については、芦ノ牧温泉観光協会が実施。</p> <p>それにかかる諸費用も芦ノ牧温泉観光協会が負担している。</p>
---	--	---

ポケットパークを改良するにあたり

管理協定書の締結

施設の維持及び清掃、光熱水費(温泉)、維持管理に際して発生する諸経費は、芦ノ牧温泉観光協会が負担する。
・**地元が主体の維持管理**。

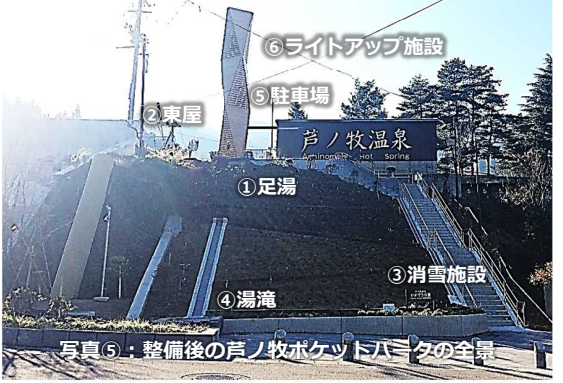


「元気ふくしま、地域づくり交流促進事業」を活用し、芦ノ牧温泉を訪れた人々を暖かく迎えられるよう**施設の充実を図ることを目的**として施工全体的なデザインを**会津大短期大学教授柴崎恭秀氏**に、夜間のライトアップを**照明デザイナー岩井達弥氏**に御協力いただいた。

2. 経緯

平成25年度	平成26年度	平成27年度
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や観光協会との懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木移植イベント ・有識者による講演会 ・ライトアップ実験 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理協定締結式 ・工事着手 ・供用開始
<p>懇談会の様子(H25.10)</p> <p>懇談会の様子(H26.1)</p>	<p>講演会(H26.5) (柴崎氏、岩井氏)</p> <p>樹木移植イベント(H26.11)</p> <p>ライトアップ実験(H26.6, H26.11, H27.2) (岩井照明デザイナー)</p>	<p>着工</p> <p>オープニングセレモニー(H27.11.18)</p> <p>足湯の様子</p>

3. 施設概要



<p>①足湯</p> <p>足湯：足湯に浸かったときの景色を重視し、高い位置に配置。豊富な湯量で源泉かけ流し。</p>	<p>②東屋</p> <p>東屋：会津大短期大学教授柴崎恭秀氏のデザインで、飯盛山のさざえ堂をイメージ。</p>	<p>③消雪施設</p> <p>消雪施設：積雪が多い地区のため、階段には温泉を利用した放水消雪を設置。</p>
<p>④湯滝</p> <p>湯滝：湯量豊富な芦ノ牧温泉だからその湯滝。湯煙を楽しめる。</p>	<p>⑤駐車場</p> <p>駐車場：ポケットパーク上部に普通乗用車2台分の駐車場を整備。</p>	<p>⑥ライトアップ施設</p> <p>ライトアップ：鶴ヶ城ライトアップも手掛けた岩井達弥氏の作品。東屋内部から光がもれる構造。</p>

4. みどころ

<p>芦ノ牧地区の四季折々の山々と夜間の幻想的なライトアップ。</p>	<p>景色を楽しむ</p>	<p>湯量豊富な天然温泉に浸かりながら芦ノ牧温泉を楽しむ。</p>	<p>温泉を楽しむ</p>
-------------------------------------	---------------	-----------------------------------	---------------

5. おわりに

新公園の名称は、公募の中から **かがやき公園** に決定！！

芦ノ牧温泉の玄関口として、県内外からたくさんの方を暖かく出迎えることが出来れば幸いです。会津若松へお越しの際は、是非お立ち寄りください。各メディアに取り上げられ、少しずつ認知度も上がって参りました。引き続き、地域の活性化につながるよう情報発信して参ります。本事業に御支援、御協力いただきました関係の皆さまに、心より感謝申し上げます。

平成28年1月
会津若松市政だより

H27.11.20
福島民報掲載記事

H27.11.19
福島民友掲載記事